

一般社団法人栃木県バスケットボール協会
平成 29 年度 第 4 回理事会 議事録

日時：平成 29 年 10 月 17 日（火） 18：30～

会場：文星芸術大学附属高校研修室

出席：〔理事〕 18 名 上野秀夫、小曾戸和彦、片桐晃、遠藤嘉津敏、高橋哲夫、福田悦男、直井秀之
新村雅司、塚原弘江、石渡光平、渡辺諭、前原延之、北条和寿、齋藤宣子(代理)
佐々木清美、古谷常夫、横澤隆一、山田将樹

〔監事〕 0 名

欠席：〔理事〕 9 名 阿部泰紀、鈴木克美、福田憲司、中村剛久、杉森豪、佐藤智信、日向野信行
別井明彦、小林史雄

〔監事〕 2 名 井上尉央、荻美紀

1 あいさつ

上野副会長：多忙中の参加に感謝する。慎重審議をお願いする。

2 報告事項

(1) 各種大会報告

①国体報告

小曾戸副会長：いろいろな理由でメンバーは揃わず、本当に厳しい中、選手はよく頑張ってくれた。お礼を申し上げたい。栃木国体を考えたときに、白鷗大学と協会の連携の在り方等方策を検討していかなければならないと思う。

専務理事：毎試合接戦を勝ち抜いていった。けがで選手が減っていきリーグ戦の途中なのに本当に申し訳なかった。決勝戦は、前半よくやったが、後半に入り上手さにやられた。県からは、天皇杯 21 位には、成年女子の 35 点が大きかったとお礼を言われた。

また、国体の結果からオフシーズン対策強化費が白鷗大学についた。

強化部視察：少年男女を視察したかったが、会場地の関係で少年女子と成年女子を視察した

(強化部長) 優勝した岐阜には 190cm の選手がいて世界が違う感じがする。平面バスケットをやる山口と秋田戦を見て感じたことは、リングを見てシュートまで行ける選手が最低一人はいないときついと感じた。山口は 166cm の選手が 66 点入れている。センターや 170cm 前後の選手の 3P のシュート力がないとダメ。

速攻やアーリーにしてもシュートが早く、必ず逆サイドにリバウンドがいるということがきちんとできている。

5 秒以内にフロントコートに運び、フロントコートでは 10 秒以内にシュートを打ち、必ずロングリバウンドをものにする。そのあたりの技術が必要だと感じた。

ディフェンスでは、ローテーションの早さが目につき、約束事がきちんとこなせれば、あまり大きくなくてもやっていけると参考になった。

- ②ママさん大会：7/28～30に広島で全国ママさん大会が行われた。(今回で終了) Bブロックで決勝まで行き開催県広島にやぶれ、ブロック2位となった。
- ③車椅子：内閣総理大臣杯争奪第45回記念日本車椅子バスケットボール選手権大会では、東海・北陸代表に初戦敗退した。
IWBF男子U23世界車椅子バスケットボール選手権大会に作新の高松選手が代表に選出され出場し4位となった。
- ④3×3：10/1にトレセンでU15・U18の大会を実施。12月に開催されるU18の日本選手権の代表は、男子が小山高校のチーム、女子が小山南校のチームである。
- (2) 賛助会の報告：10/16日付残高が456,520円となっている。U12～U16までのすべてのジュニア育成事業が行われている。この賛助金をこれらの事業に充当していく。
- (3) その他の報告
- ①宇都宮市協会：12/3日Wリーグ(日立ハイテク対富士通)が開催される。
- ②高体連：ウィンターカップが今年度から選手権大会となり全県下オープンで開催する。高校優秀選手の表彰は、女子の決勝が終わり次第行う。TV放送は、後日ケーブルテレビで放送されるほか、Jスポーツでも昨年同様に録画放送される。
- ③ブレックスより
- i) 9月末からシーズンが開幕した。激戦の東地区で奮闘している。チケットは順調に販売されている。
- ii) FIBAワールドカップ2019アジア地区1次予選に候補選手として、竹内・遠藤選手が選ばれた。最終メンバーに選ばれると天皇杯3次ラウンドに出場できず、厳しい状況となる。
- iii) ホームゲームのエキシビジョンゲームについて、1月末のブレックスカップはB3のゲームが入ってくるのでできなくなった。
- iv) 今、勝率がよくないが集客等スタッフでやれることはやっていくので、応援をよろしくお願ひする。

3 定足数について

- 定款第47条により、理事総数27名うち出席理事18名、過半数以上の出席により定足数を満たし本理事会は成立。
- 会長欠席により代理議長として、上野副会長をお願いする。

4 議事録署名人の選出について

阿部会長：クラブ連の 塚原弘江 氏 と中体連の 北條和寿 氏 をお願いする。

5 審議事項(議長：阿部会長)

- (1) 天皇杯・皇后杯3次ラウンドの運営について
- 専務理事：前回に決まった委託契約をブレックスと交わした。協会は、競技に係る部分について行うことになる。
- 競技部長：競技役員として、委員長に小曾戸副会長、副委員長に直井理事、委員に石渡理事・杉森

理事・益子特任理事としたい。

専務理事：このほかに、T0・スタッツ委員会のメンバー及び会長以下関係する協会役員に入っただけ競技役員としたい。

—承認される。—

(2) 栃バ協会内組織体制の改革について

専務理事：JBA のガバナンスの構築に向けて、県協会の組織体制の改革を進めなければならない。

①県協会内に「必須専門委員会」の設置

②アンダーカテゴリー部会の設置

③各種連盟・協力団体の位置づけ

④地区・市町協会との連携強化

⑤競技会委員会による県内競技会の管理

これらについて、理事会等に(案)を提示して検討していくことを了承してほしい。

—承認される。—

(3) 協会優秀選手表彰について

高体連：国体に選ばれている選手男女各 12 名

—承認される。—

中体連：男女各 15 名、ジュニアオールスターに出場した選手と中学の大会等で実績を上げた選手で選考した。県外に進学希望の選手は推薦していない。

表彰式は 11/18（土）栃木市体育館で行う。

—承認される。—

専務理事：優秀選手表彰等の内容や在り方について、検討していきたい。

—承認される。—

(4) その他

ア) JBA カレンダー購入について

専務理事：昨年通り 150 部注文して、新年会等で配ることでよいか。

—承認される。—

イ) 新年会の開催について

専務理事：新年会は行事予定で承認されている。高校の新人戦やブレイクスの予定を考えると 1/13（土）でよいか。

—承認される。—

※後日、会場が確保をできず、1/20(土)に変更される。

ウ) D-fund の申請について

専務理事：10/31 締め切りで申請をする。現在、最終チェックをしており申請内容が提示できない。

12 月の理事会で申請内容を報告することで了承してほしい。

—承認される。—

エ) ホームページの修正及びパソコンの購入について

専務理事：前回の理事会で、HP の修正とパソコン購入の見積もりを取って検討ということであったが、HP の修正よりリニューアルの方がよいと専門家にアドバイスされた。リニューアルとパソコン購入となると財政的に厳しいので、リニューアルを優先したい。

―財務と確認しながら進めることで承認される。―

(5) その他：特になし

6 その他:特になし

7 あいさつ

小曾戸副会長：長時間にわたり慎重審議ありがとうございました。